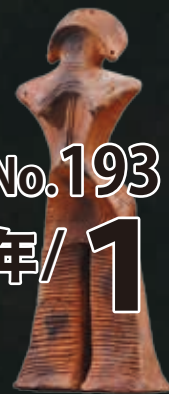


議会だより

# ふな城大

No.193  
5年/1



発行：山形県舟形町議会  
令和5年1月27日



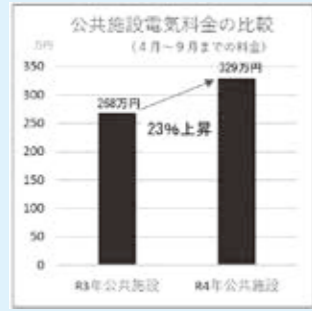
子供会で作った会場までの幻想的な歩廊

年頭のあいさつ .....	2P
10月臨時会・12月定例会・質疑応答 .....	3P
議案の採決状況～こんなことが決まりました～ .....	6P
町政を問う 一般質問に6議員 .....	7P
議会報モニターアンケートより .....	14P
議会活動 .....	16P
えがったなあ・町民の声・編集後記 .....	20P

表紙のことは  
19Pにあります。

各種光熱水費の増額事業

2237万円



電気料金の高騰に伴う、町内公共施設の運営や維持にかかる経費の増額に対する経費

町内公共施設の電気料金が令和3年上期268万円、同4年上期329万円と、対前年上期比61万円(23%)増額したための対応です。



空き家対策事業

230万円



補助金申請件数の増加にかかる経費 (空き家除去補助金…解体工事費及び廃材処分費等にかかる経費の2分の1以内の額を補助することとし、住宅は100万円、付属建屋等は30万円を限度とする)

解体実績は、平成30年度23軒、令和元年度15軒、同2年度17軒、同3年度11軒、本年度は9軒の解体を行い、累計で75軒の空き家が除去されました。



スクールバス等管理事業

72万円



ほほえみ保育園の送迎バス、スクールバス計4台に安全装置を取り付ける経費(18万円×4台分) (職員による安全確認は実施済み) (写真は10月12日にほほえみ保育園でもしかクラブの活動として行われたクラクション訓練)

静岡県の認定こども園で、送迎バスに取り残された園児が死亡した事件を受けて、4月から安全装置設置が義務化されるための対応です。



全議案の採決結果は6ページに掲載

12月定例会は、12月6日から8日までの3日間の日程で開かれました。一般質問では6名の議員が登壇し、町政運営や課題、将来の展望をたどりました。(質問は8～13ページに掲載)町長提出案件は、令和

4年度一般会計・特別会計4件の補正予算、専決処分報告、条例の一部を改正する条例の制定3件、設定2件、固定資産評価審査委員会委員の選任について、全12議案が提出され、全て原案通り可決しました。

第5回臨時会  
10月31日  
12月定例会  
12月6日～8日

全会計補正予算1億572万円

光熱水費増・空き家対策に重点



「年頭によせて」

舟形町議会議長 八 鋏 太



明けましておめでとうございませう。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、議会の運営及び諸活動に対してご強力、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、引き続き新型コロナウイルスが生活に大きく影響した年でありました。

一方では、ロシアがウクライナに侵攻し未だに終息が見えない中、食料品や燃料、資材が高騰し、日常生活はもとより、農業をはじめとする産業の分野でも大きな影響を受けました。

令和5年が幕を開けましたが、今年こそはコロナを乗り越え、経済立て直しの年になることを願うところです。

今年4月には私たち議員も改選となりますが、これまで「信頼される議会」を目指し、様々な改革と機能強化に努めて参りました。たとえ構成は変わっても取組み姿勢はしっかりと受け継がれるものと思います。

皆様には、任期中に賜りましたご指導、ご協力に改めて感謝申し上げますとともに、今後一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして、健やかで幸多き年でありますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

議長	八 鋏 太
副議長	奥山 謙三
議員	叶内 富夫
議員	佐藤 広幸
議員	斎藤 好彦
議員	石山 和春
議員	小国 浩文
議員	伊藤 欽一
議員	荒澤 広光
議員	叶内 昌樹
事務局長	相馬 広志
事務局	沼澤 靖子

# 質 疑 応 答

## 第5回臨時会

## 12月定例会

### 生涯学習センター

#### 貸し出し計画

**議員** 12月に生活応援商品券を全町民へ配布したが、マイナンバーカードを活用した現金給付は可能なのか。

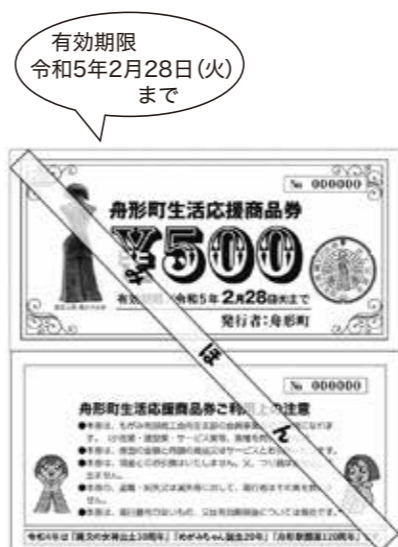
#### 現金給付

**町長** マイナンバーカードと銀行口座を紐づけている方が現時点では少数なので、現金給付は難しいです。

#### 商品券

**議員** 灯油や農薬等を買掛として購入した場合、商品券を利用して支払いできるのか。

**まちづくり課長** 買掛としての購入に対する料金の支払いは、事業者により対応が異なります。



詳しくは使用時に事業者へご確認ください。

**議員** 大規模改修工事は、これで完全に終了したのか。また、今後民間事業者へ貸し出す計画はあるのか。

**まちづくり課長** 今回計画した大規模改修工事は終了しますが、公共施設の長寿命化計画に基づき、将来また工事を行う可能性はあります。今のところ民間事業者へ貸し出す計画はありませんが、長沢地区に限らず他のサークル、愛好会へも広く貸し出していきたくと考えております。

#### 工事内容変更

**議員** 今回工事に入ってから工事内容が一部変更になったが、変更に伴い、費用が増加する要因と安価になる要因は明確になっているのか。また、今回の変更内容を記録に残す必要があると思うが。

**まちづくり課長** 今回の工事内容変更に伴う増額部分、減額部分は設計書上には明記されています。変更内容も設計書に明記されていますので、記録として残ります。

#### 児童交流

**議員** 世田谷区との児童交流事業は、コロナの影響で3年間中止になっている。児童数のアンバランスから他町村の施設を利用するようになっていくようだが、町の施設を利用するような話し合いはないのか。

**教育長** 体験実習館やコテージでの対応など話し合いを行ない検討しましたが、夜間の児童の管理等を考えると、まずは集団泊を1か所で実施、という発想での交流をやってみようということになっています。

#### 空き家対策

**議員** 空き家の解体が進んでいることは大変良いことだが、230万円の増額で何軒の解体が進むのか。また、現在空き家は全部で何軒あり、危険空き家は何軒残るのか。

**地域整備課長** 現在の空き家は114軒、内危険空き家は25軒あります。進捗状況は令和3年度まで66軒、今年度は9軒を解体し、今回の補正分で住宅2軒、小屋1軒を解体するための補助金が申請される予定です。危険空き家は今回1軒解体されるので、残り24軒です。



改修中の生涯学習センターのようす

#### 事前調査と当初設計

**議員** 当初設計の段階で、今回追加変更になった箇所の確認は出来なかったのか。設計の段階で事前調査、現場確認に重点を置き、設計の精度を向上させる必要があるのでは。

**まちづくり課長** 当初の設計段階では確認が出来ず、工事を進めてから不具合箇所が発見されました。今後も工事に入ってから変更が発生することもあるかと思いますが、事前調査、現場の実情を十分確認し、設計の精度の向上を図るよう努めてまいります。



リモートで情報交換し進められた児童交流

#### 下水道ポンプ

**議員** 舟形駅前の下水道用のポンプ工事の進捗状況は。

**地域整備課長** 工事はすでに完了しています。

#### 人事評価制度

**議員** 舟形町職員の人事評価とあるが、誰がどのように行っているのか。

**総務課長** 舟形町職員に対して、毎年1年間かけて人事評価を行っております。職員が最初に自己判断をし、提出をしたものを課長職が評価をして、最終的には特別職が評価します。

#### マイナンバーカード

**議員** マイナンバーカードの交付率が今年度中に70パーセントに達しないと、国からの補助金が減額されるようだが、現在のマイナンバーカード交付率は。

**住民税務課長** 令和4年11月末までの交付率は、54.7パーセントです。毎月200〜300件のペースで申請があるので、12月末時点で60パーセントほど見込んでおり、年度末まで達成できるように推進していきます。

#### スクールバス

**議員** スクールバス安全装置設置予算72万円を計上しているが、何台に設置予定か。また、取り付け料は含まれているのか。

**教育課長** 保育園専用送迎バス1台と、スクールバスと併用する車両3台の計4台に設置予定で、取り付け料を含んだ金額です。



安全装置が取り付けられる保育園送迎バス

令和4年第5回臨時会 議案の採決状況		○賛成 ×反対 ㊦欠席 ㊧退席 ㊨除斥										
議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	採決結果
		叶内昌樹	荒澤広光	伊藤欽一	小国浩文	石山和春	斎藤好彦	佐藤広幸	叶内富夫	奥山謙三	八嶽太	
議案45号	令和4年度舟形町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

令和4年第4回定例会 議案の採決状況												
報告7号	令和4年度舟形町生涯学習センター大規模改修工事請負契約の一部変更についての専決処分の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
議案46号	令和4年度舟形町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案47号	令和4年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案48号	令和4年度舟形町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案49号	令和4年度舟形町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案50号	令和4年度舟形町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案51号	舟形町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案52号	舟形町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案53号	舟形町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案54号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案55号	舟形町職員の高齢者部分休業に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案56号	舟形町固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議3号	安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

\*議長は採決に加わらない。 ※報告は採決を行わない。

◆令和4年第4回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	傍聴者数
12月6日(火)	本会議	・陳情付託 ・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問4名 終了後、各常任委員会	9人
12月7日(水)	本会議	・議案審議 (報告7号、議案46号~議案50号)	・各常任委員会 ・全員協議会	1人
12月8日(木)	本会議	・議案審議(議案51号~議案56号) ・付託審査報告 ・閉会中の所管事務調査報告	・議案審議(発議3号) 終了後、広報常任委員会	1人

# 町政を問う

## 一般質問に6人が登壇

〈一般質問掲載要綱〉  
 ●一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。  
 ●本文の字数は、質問300字以内、答弁は500字以内のため、内容を要約して掲載。  
 ★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。

### 一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。(持ち時間は議員ひとりにつき40分)

あらさわ ひろみつ  
**荒澤 広光 議員** 8ページ



★1 コロナと共存に向けた町の取り組みを

かなうち まさき  
**叶内 昌樹 議員** 9ページ



★1 通園バスの安全装置対策は万全か

さとう ひろゆき  
**佐藤 広幸 議員** 10ページ



★1 町の財政運営について

いとう きんいち  
**伊藤 欽一 議員** 11ページ



★1 防雪柵設置の要望を

さいとう よしひこ  
**斎藤 好彦 議員** 12ページ



★1 グランピングで交流人口の拡大を

おくやま けんぞう  
**奥山 謙三 議員** 13ページ



★1 中学校部活動改革を問う  
 ★2 特定地域づくり事業制度について



かなうち まさき  
叶内 昌樹 議員

# 通園バスの 安全装置対策は万全か

## 置き去り防止の徹底に取り組む



安全装置が設置予定の保育園専用バス

町では9月の静岡県の園児や児童生徒のバスの置き去り事件のほとんどは「車内の確認・点検を怠った」ことに起因するものであります。

町では9月の静岡県の園児や児童生徒のバスの置き去り事件が発生した直後に、バスの全運転手に対し、注意喚起と降車後の車内の確認・点検の徹底を指示したところであります。「保育所、認定こども園における送迎バスの安全管理に関する緊急点検及び実地調査」は実施済みで、保護者との連絡体制や職員間の情報共有バス降車時の点検及び複数職員による確認はクリアしており、これまで無かった、利用するバスごとに園児の名前を記入した「乗車・降車チェックシート」を新たに作成し運用しているところですが、その他、かもしくクラブ・バスの運転手・保育園職員・地域の方々一体となって、幼い命を守るための安全管理の徹底

に取り組んでいます。安全装置については、町としましても早期の設置を目指し、12月補正に関連予算を計上しており、仕様を示されたならばすぐに対応したいと考えております。いずれにしても、安全装置は人為的なミスを補完するもので

あり、一番重要なのは、関係職員の確認・点検であるうと思っております。



「乗車・降車チェックシート」で保育士が最終確認

【質問】 令和4年9月に発生した園児や児童の送迎バスの置き去り事件で熱中症で死亡した問題。同様の問題は過去に他県でも確認され、その後も社会的に啓発運動していても置き去り問題が日々報道されています。国では令和5年4月から安全装置

の設置義務化を全国一律で行うようだが町では対応策を検討しているのか、また、県内の全施設で安全管理に関する緊急点検を調査した結果を踏まえて、町施設では、幼い命を守るためにどのような送迎時の安全管理を取っているのか伺います。

【町長】 これまで発生した園児や児童生徒のバスの置き去り事件のほとんどは「車内の確認・点検を怠った」ことに起因するものであります。

町では9月の静岡県の園児や児童生徒のバスの置き去り事件が発生した直後に、バスの全運転手に対し、注意喚起と降車後の車内の確認・点検の徹底を指示したところであります。「保育所、認定こども園における送迎バスの安全管理に関する緊急点検及び実地調査」は実施済みで、保護者との連絡体制や職員間の情報共有バス降車時の点検及び複数職員による確認はクリアしており、これまで無かった、利用するバスごとに園児の名前を記入した「乗車・降車チェックシート」を新たに作成し運用しているところですが、その他、かもしくクラブ・バスの運転手・保育園職員・地域の方々一体となって、幼い命を守るための安全管理の徹底



あらさわ ひろみつ  
荒澤 広光 議員

# コロナと共存に向けた町の取り組みを

## 検査キットの購入補助は考えていない



簡単に確認できる抗原検査キット

【質問】 本町での新型コロナウィルス感染者数は、現在も増加しているものと推察されます。

1、本町で過去に陽性と診断された方へ、町独自で後遺症の実態を調査してフォローする必要があるのでは。

2、感染不安のある方は抗原検査キットを購入し、自己検査を行い職場や旅行に行っていると思

われませんが、検査キット購入に補助制度が必要なのは。

3、インフルエンザとコロナの同時流行を防止するため、インフルエンザ予防接種補助対象を拡大する必要があると思

公表分までの約2カ月で、本町の70歳以上の方の感染状況は県全体の0.73%（46名）です。

1点目の後遺症については、仕事や学校生活への影響などを把握するため、山形県による実態調査が行われております。県のホームページから回答する形式となっております。新型コロナに罹患して2か月以上経過した方が対象です。町のホームページからも回答できます。

2点目の抗原検査キット購入補助制度については、流行当初は入手が困難で、価格も高かったと認識しておりますが、今年4月から4割程度安くなっている製品もあり、入手環境は改善されてきましたので、今のところ

購入補助は考えておりません。

3点目のインフルエンザ予防接種への助成対象拡大については、免疫力が低い中学生以下の小児や65歳以上の高齢者等、重症化リスクの高い層に対して助成を行っており、今のところ対象を拡大する考えはありません。

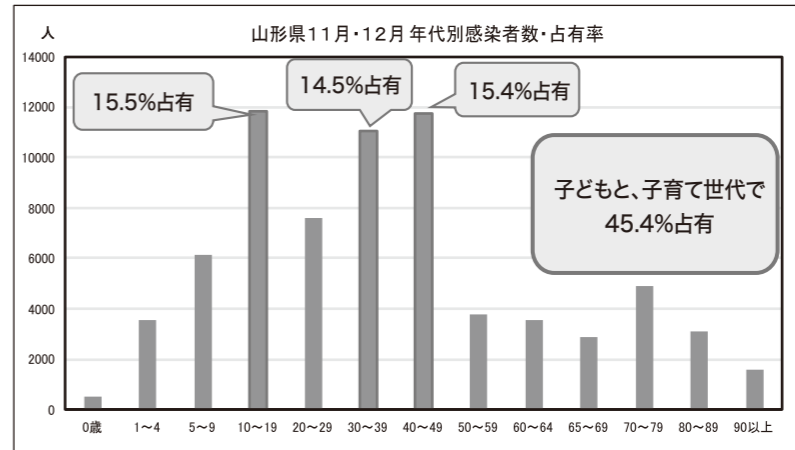
町としましても、これまで取り組んできた対策や対応について、その経

【町長】 山形県での感染者数の把握については、全数把握の見直しが実施されたことにより、現在は市町村別の公表はされておりますが、11月23日

今後のコロナ感染症との共存に向けて、町長の考えを伺います。

これからは新型コロナ感染症と共存し日常生活、職場、地域の行事等を行っていかねければならないと思

町としましても、これまで取り組んできた対策や対応について、その経





伊藤 欽一 議員

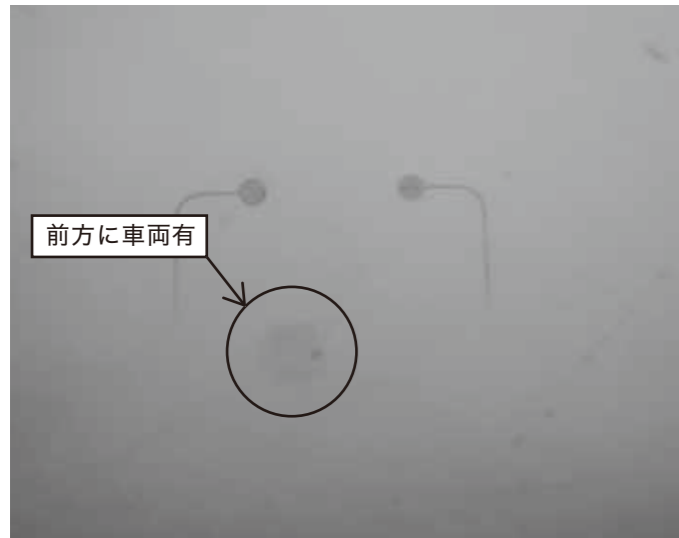
# 防雪柵設置の要望を

## 防雪柵設置を強く要望

**【質問】** 県道新庄舟形線の河川公園付近の防雪柵は様々な条件から設置が難しいと聞いていますが、この地区にはほほえみ保育園、舟形小学校、福祉避難所「てとて」と公共施設がありまた、将来舟形中学校が移転すると思われ、さらなる教育環境の充実が図られるものと期待しています。さらに子育て支援住宅が3棟、若者向け定住促進住宅1棟、戸建ての住宅も約25棟増え、民間のアパートもあり、多くの車両が使用されています。この付近は毎年ホワイトアウトが発生し、常に危険な状況での運転を強いられています。以上のことから、町と

防雪柵の設置は、風雪時の視界を確保し、交通事故を防止する最も有効な手段と認識しています。現地の精査と、設置可能な工法の検討を県に要望し、また、国からのアドバイスも必要な場合もあると思います。県が事業主体であるので、その結果に基づき、町として協力できるところは協力し、早急に防雪柵の設置が実現出来るよう県に強く要望していきたいと考えています。

**【町長】** 河川公園付近の県道新庄舟形線の防雪柵設置については、バスのスリップ事故等、雪に起因した車両の事故が年間に数件発生していたため、平成28年度から安全対策の一つとして、継続して県へ要望しているところですが、県からは「道路が堤防を兼ねており、堤防内に防雪柵の支柱・基礎を設置することは、堤防を脆弱にすることはつながらり、きわめて難しい」と、回答をいただいています。しかしながら、この区間は、住宅等の増加に伴い、自動車の県道への出入りが多くなり、ホワイトアウトによる事故の確率が高くなっていると想定されます。



前方に車両有  
ブレーキランプも見えないほどのホワイトアウト  
舟形町河川公園付近（2022年2月21日撮影）



降雪前の新庄舟形線



佐藤 広幸 議員

# 町の財政運営について

## 将来財政を圧迫する可能性は低い



将来の財政運営をする役場

**【質問】** 山形県は、地方自治体の財政状況の判断指標となる「健全化判断比率」4指標を発表し、それによると舟形町の実質公債費比率が12.6%と県内ワースト1位となりました。

**【町長】** 「健全化判断比率」町の9月決算時の地方債残高は一般会計、特別会計合わせて、74億9千万円あり、その償還に充てる公債費は4億4千6百万円です。将来負担すべき方々のためにも、いち早く実質公債費比率を県平均の8.3%近くまで改善する必要があると考えますが、町長の考えを伺います。令和6年が実質公債費比率16%になり、ピークを迎える事になっていたが現在ほどの様な状況か質問します。

また、世界各国で金利を上げる政策が取られ始めました、金利上昇と公債費の関係性をどの様に見ているのか質問します。

また、近年の減債基金等への積み増しにより現時点では将来財政を圧迫する可能性は低いと考えています。

また、地方債は令和元年度から金利の低い変動金利で借入れを始めており、15億2300万円あります。その大部分が過疎対策事業債のため、その年度の元利償還金について、70%の割合で地方交付税に算入されるため、影響額は少ないと考えています。

2021年度決算・実質公債費比率			
	高い市町村	低い市町村	
①舟形町	12.6%	①天童市	4.1%
②小国町	12.4%	②鶴岡市	6.1%
③南陽市	12.0%	③鮭川村	6.1%
③川西町	12.0%	④朝日町	6.4%
③飯豊町	12.0%	⑤上山市	6.8%

実質公債費比率とは、町の借金の返済額の大きさを通常の収入額に対する割合で示した指標のことです。



おくやま けんぞう 奥山 謙三 議員

# 中学校部活動改革を問う

## 地域と一体となり進める



ガンバレ舟中（中体連壮行式）

**質問** 改革の方向性として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築すべきとあります。一方で休日の部活動に対する生徒の希望にに応えるため、休日において部活動を地域の活動として実施できる環境を整えることが重要とあります。町ではこれらを受けて部活

**町長** 中央教育審議会の答申において、将来的には部活動を学校単位から地域単位の取組みにし、学校以外が担うことも積極的にすすめるべきであると示された。県は今年11月に基本的考え方を公表しました。休日の活動を希望する生徒は、地域

**質問** 特定地域づくり事業協同組合制度の目的は、年間を通じた雇用の場を創出し、組合で雇用した職員を事業者に派遣する

**町長** 本事業制度にご理解いただき、事業協同組合の設立に取り組んでいただく方が必要です。他市町村の取組み状況につ

### 仕事の組み合わせ例



職員を派遣して  
人材支援

### 特定地域づくり事業協同組合

特定地域づくり事業協同組合制度の運営イメージ

ここで、安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保でき、移住・定住を促進するとあります。当町において実施が可能なのか検討して見る必要はあると思います。町長の考えをお聞きます。



県内でも整備が進む施設

**町長** ここ数年の間に、新たなアウトドアの楽しみ方でもあるグランピングが県内においても展開されてきております。キャンプをするにはテント

従来のアウトドアのみの提供に留まらず、温泉エリア一帯の賑わいによる、交流人口拡大を目指す事業の展開を検討すべき時機であると考えます。町長の考えを伺います。

**質問** 近年、従来のキャンプ・テント・コテージの概念にグランピングが加えられ新たなアウトドアの楽しみ方が定着しています。温泉エリアにグランピング施設を併設し、一人でも多くの宿泊客により魅力的で賑わいのあ

る「わくわく未来ふながた」の創出を考えてみてはどうでしょうか。若あゆ温泉エリアにはグランピングに適した「最高の眺望景観」「創造性に富んだ料理」「温泉による癒し」など環境が整っています。

での新たな活動としてクラブ等に所属するなど、自由に選択して活動することや各市町村は部活動改革を検討する組織において、休日に活動することを希望する生徒のために、活動している部活動の種目を中心に、休日も活動できる環境を令和5年度から段階的に整備し、令和8年度からの実施を目指すなど、県で示したガイドラインに沿って進めていきます。休日部活動の段階的な地域移行については、生徒や保護者への情報提供を適時行うとともに、子ども達の望む活動が出来るよう、地域と一体となって環境整備を進めていきます。

を設営し食事の用意や後片付けは利用者が行うのが一般的とされている中において、グランピングではテントや調理器具、食材などキャンプに必要な物品の準備や調理の後片付けをする必要がなく、ホテル並みのサービスや癒しを体感できるスタイルが人気となっております。若あゆ温泉エリアは、「最高の眺望景観」、「創造性に富んだ魅力的な食」、「温泉による癒し」という環境が整っております。また、近くには県民ゴルフ場や清流最上小国川もあるなど町最大の交流エリアとなっております。高速道路の開通に伴いこれまで以上の交流人口の増を目指す中において、グランピングの展

開は大変魅力的で興味深いものがあります。グランピングは施設や設備に加え専門スタッフの配置などホテル並みのクオリティが求められます。費用対効果も含めグランピングブームが一過性のも



冬でも楽しめるグランピング



さいとう よしひこ 斎藤 好彦 議員

# グランピングで交流人口の拡大を

## 若あゆ温泉エリアの活用を検討したい

のならないかといったところも見極めながら、若あゆ温泉エリアの魅力をどのように活かして交流人口の増につなげていくかについて今後も検討してまいりたいと考えます。

### ◆えがったな、町民の声、編集後記について (20ページ)

- ・少子高齢化社会の中、舟形の赤ちゃん（未来の宝）が見れてうれしく思います。
- Q2・支援センター利用者への対応改善を望みます。（土日の支援センター利用を可能にしてほしい。）
- ・かわいい子供の写真は見るたびに癒されます。
  - ・うちにも2歳になる息子がいて、十二河原の噴水で遊ばせてもらいました。赤ちゃんのベビーフードなど、ドラッグストアなど買える場所があると助かります。
  - ・えがったなで毎回ほっこりしています。

### ◆議会・町に対する意見等、その他

- ・舟形町の明るい未来の為に頑張って下さい。
- ・1人持ち時間40分の中、多数の質問・提言、今後の活動も期待します。
- ・これから冬になりまた雪が降ってくるので、安心、安全に暮らせるように除雪などよろしくお願ひします。
- ・中学校のグラウンドのナイター設備ですが、もっと全体的に明るくしてほしいです。中学生はもちろんですが、小学生も使う町の中心施設ですし、暗い所は危なくないのかと思っています。全体が明るくなればもっと安心して使えるようになると思います。

## モニターさんのご意見にお答えします

Q1. 舟形中3年生による傍聴大変良い事です。是非1・2年生にも体験を！

Q2. 支援センター利用者への対応改善を望みます。（土日の支援センター利用を可能にしてほしい。）

A1. 中学3年生の皆さんにとって、地方行政を学ぶ良い機会となりなによりです。1・2年生の傍聴については、今後中学校側と協議し、実施を検討してまいります。

A2. 新型コロナワクチンの接種会場として福祉避難所「てとて」を使用するため、令和4年7月～9月中旬まで土曜日の開放を中止しておりました。10月～12月は土曜の午前のみ開放しておりましたが、令和5年1月7日(土)からは午前9時30分～11時30分、午後1時30分～4時の間で開放を再開しています。

## 議会だよりモニターを募集

- 活動内容 ①発行された議会だよりについて意見を述べる。  
②議会だよりに関するアンケートに回答する。
- 任期 委嘱状を交付された日から1年間(4月号発行～1月号発行まで)  
舟形町在住の18歳以上の方
- 定員 5人以内
- 申込方法 3月末日までに議会事務局へ来庁または電話かメールでお申し込みください。
- 電話 32-0030(直通)
- メール gikai@town.funagata.yamagata.jp

# 貴重な意見ありがとうございます。 議会報モニターより



今回は議会だより192号(10月28日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

### ◆表紙について

- ・今年是有観客での運動会が出来てよかったと思います。
- ・玉入れする園児、撮影している父兄、どちらも一生懸命で本当にほほえましい姿。
- ・秋晴れの中、元気な子供達の笑い声がきこえてきそうです。
- ・がんばって玉入れしている姿がほほえましいです。
- ・コロナ禍でも保育園の子供達が一生懸命頑張っている姿を見る事ができていいですね。

### ◆臨時会・定例会概要、質疑応答について (3～6ページ)

- ・説明が分かりやすくよい。
- ・こぶしの道伐採後の植樹もご検討をお願いします。
- ・ふるさと納税が気になり、税金などいろいろ調べてみました。舟形町の納税額は毎年すばらしいです。
- ・いろんな状況をふまえて、必要なところにお金を使っていたきたいです。
- ・ふるさと納税トップクラスはすごいですね。
- ・すすく赤ちゃん祝い金ですが、10万円の支給はありがたいと思いますが、一律10万円より2人目、3人目と少しでも支給額が上がればもっといいと思います。

### ◆一般質問について (7～13ページ)

- ・災害ボランティアの受け入れは今後、町でも課題になって来ると思います。
- ・キャンプ場として新たに利用できる場所を教えてください。
- ・舟形町に勤務しても、住むところがないので新庄にアパートを借りて通勤という方もいます。コンビニ等もあるので、アパートが出来れば住む人も増えるかと思ひます。
- ・最近、アパートなどができて若い人が増えてきているように感じます。新しく舟形町に住む人が増えて、町の発展につながったらいいいと思ひます。
- ・キャンプの全面禁止は、他方面からの人の出入りが少なくなると思ひます。安全にキャンプを楽しめるような方法があるといいと思ひます。

### ◆議会活動について (16～19ページ)

- ・小・中一貫校、舟形町も気になる所です。
- Q1・舟形中3年生による傍聴大変良い事です。是非1・2年生にも体験を！
- ・中学校のAIドリル活用などはすばらしいと思ひます。
  - ・いつか舟形町にも小中一貫校ができたらいいなと思ひます。
  - ・将来を担う子供達のために頑張って下さい。



水素利活用の飛躍的推進の実現（行政視察）

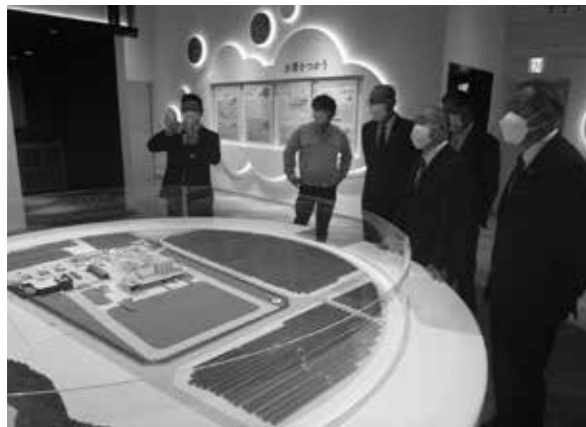
- 1. 期 日 令和4年11月14日（月）～15日（火）
- 2. 視察場所
  - ・福島水素エネルギー研究フィールド（水素製造拠点FH2R）
  - ・福島県浪江町役場（水素タウン構想）
- 3. 目 的
 

舟形町の未来を見据えたゼロカーボンシティの理想的なエネルギーについての研修
- 4. 視察概要
  - (1) 浪江町水素タウン構想
 

浪江町は、東日本大震災で原発事故発生により町面積の8割が帰還困難区域となり、現在では一部地域の避難指示が解除され移住が出来るようになったものの震災時の人口から1割程度しか戻っていない。それを教訓に、原子力というエネルギーに頼らない、水素という新たなエネルギーで復興まちづくりを実現するため、水素利活用に全力で取り組んでいる。
  - (2) 福島水素エネルギー研究フィールド
    - ①令和2年3月7日に世界最大級の水素製造拠点FH2Rを開所し、ゼロカーボンシティ達成に向けて、再生可能エネルギーの普及拡大・エネルギーの効率的な利用・水素利活用の拡大を目指し、水素実証フィールドとして活用しFH2R産水素を積極的に活用してもらい水素社会実現に寄与している。
    - ②純水素電池システムの「H2Rex」は、水素を製造、圧縮、貯蔵しガスボンベの様な器具に詰め運搬二酸化炭素を発生させずに発電するシステムで、道の駅なみえを始め、温浴施設、介護施設等に水素の実証運用を開始している。
- 4. 所 感
 

浪江町の水素タウン構想は、水素供給ネットワークを構築し、町内施設等ですでに納入し実証運用を開始している。

水素社会の実現には様々な法改正も必要だが、水素を利用する環境整備と供給提携により、水素使用の機会を増やす必要があると感じた。



FH2R施設内の全体模型での説明

産業振興常任委員会所管事務調査報告

町民の理解が得られるよう適切な対応を望む

- 1. 期 日 令和4年11月21日（月）
- 2. 調査内容 所管課の事業の概要、進捗状況の調査
  - (1) 東北農林専門職大学（仮称）総合プロジェクトについて
    - ①学生の住環境整備・学生用アパートの建設
    - ②通学及び生活における交通手段の支援
    - ③就農支援
    - ④本町の支援制度の周知
  - (2) 東北農林専門職大学（仮称）関連造成事業について
    - ①東北農林専門職大学（仮称）アパート用地造成工事
    - ②工事の進捗状況
  - (3) 河川災害防止対策事業（寺下地区）について
  - (4) 生涯学習センター大規模改修工事の進捗状況について
    - ①建築改修工事
    - ②電気・機械設備改修工事
- 3. 所 感
  - (1)～(2) 学生用アパートの入居は他町村より好条件で頑張らないと入居は難しいのではないかと。また、交通手段の補助については町民の理解が得られるような適切な対応が望ましい。
  - (3) 河川災害防止対策事業は、本町流雪溝の流末と県道除雪の投雪場所であることから、県道除雪体制を見直しながら工事を進めるよう県に要望する必要がある。
  - (4) 大規模改修により使い勝手が良くなった。大切な施設なので充実した利用方法を話し合い、更に活用して頂きたい。



2基更新された灯油ボイラー（生涯学習センター）

総務文教常任委員会所管事務調査報告

- 1. 期 日 令和4年9月29日（木）
- 2. 調査内容 舟形中学校のICT教育推進事業について
  - (1) AIドリル（Qubena(キュービナ)）導入および活用の進捗
  - (2) 日本一の給食食育推進事業視察
- 3. 調査方法
  - (1) AIドリルを使った授業視察（3年生：社会科）
  - (2) ICT機器の活用状況説明（校長先生）
  - (3) Qubenaソフトについての説明（株COMPASS本社からリモートで説明）
- 4. 調査結果
  - (1) 生徒各自がタブレットで問題を解き、解答状況がその都度先生の端末で把握でき、AIドリルが効果的に活用されていた。
  - (2) 解答が不正解でも間違いの原因を解析して正解に導くことができ、生徒の基礎学力向上と、先生方の業務内容の軽減にも繋がるソフトとして活用されていた。
  - (3) 機器の活用については、先生方への連絡や、生徒の健康観察にも使用しており、十分に活用されていた。

AIドリル活用授業を高評価

- 5. 所 感
 

AIドリルは、解答の間違いや、つまづき箇所を見つけ出し、正解に導くことができる教材である。使用状況について、教育事務所からも評価を受けたことは、ICT機器導入の活用について学力のレベルアップにつながっており、委員会としても大変評価できるものである。

また、校長先生がリーダーとなり、機器の活用等に熱心に取り組まれ、教員の意思疎通も図られており、更なる学力の向上を願いたい。

今後は、小学校から同様のAIドリルを導入することで、中学校へ進学後の高度な機器活用に移行できるような授業体制を検討する必要がある。

AI授業を導入してからの学力の変化等については、年度ごとに結果を把握し、次年度の授業に活用し、学力のレベルアップに努めてもらいたい。



小中一貫校行政視察報告 パート2

- ◎小中一貫校制度の種類は？
 

制度上の小中一貫教育の実施形態は3つあります。

  - 義務教育学校【宮城県名取市立関上小中学校】
  - 併設型の小学校・中学校【宮城県色麻町立色麻小・中学校】
  - 連携型の小学校・中学校
- ◎それぞれの学校の違いは？
  - 義務教育学校とは、初等教育の小学校と前期中等教育の中学校を1つの学校としたものです。
  - 併設型の小学校・中学校とは、同じ設置者による小学校と中学校が同じ学校にならないで別々の学校のまま小中一貫教育を行うものです
  - 連携型の小学校・中学校は、設置者が異なるまま小中一貫教育を行うものです。特に公立の小学校と中学校の場合に設置した市区町村が異なる場合でも小中一貫教育が実施できるように配慮されたものです。



義務教育学校（宮城県名取市立関上小中学校）

- ◎小中一貫教育・小中一貫校のメリットは？
  - 小中ギャップの緩和・解消
  - 系統性・連続性を意識した教育
  - 異学年交流による精神的な発達
  - 継続的な生徒に対する指導 など
- ◎小中一貫教育・小中一貫校のデメリットは？
  - 小学校高学年でリーダーシップや自主性が養われづらくなる。
  - 人間関係が固定化しやすい。
  - 中学校の目新しさが失われてしまう。
  - 小学校卒業の達成感がない・薄れる など



併設型の小学校（宮城県色麻町立色麻小学校・中学校） ※令和5年4月から併設型の義務教育学校になる予定

小中一貫教育・小中一貫校のメリット・デメリットの詳細は次号で

新たな視点を学ぶ

県町村議会議員研修会

(令和4年10月24日)

山形国際交流プラザにおいて、上智大学法学部教授三浦まり氏より「政治分野におけるハラメント防止について」、三菱総合研究所主席研究員松田智生氏より「逆参勤交代が創る山形の未来」と題した講演をいただきました。三浦氏からは、ハラメントが起る要因とその防止策を、内閣府作成の動画を交えながら学びました。松田氏からは「逆参勤交代」という新たな手法による、これからの時代に即した地方創生のあり方についてお聞きしました。大変有意義な研修会となり、今後の議員活動に活かしてまいります。



新型コロナウイルス感染症対策のため、広い会場で間隔をあげ、最前列で受講しました

3年ぶりの開催

舟形町東京友の会開催

(令和4年11月5日)

11月5日(土)、東京都内において、第30回「舟形町東京友の会総会・舟形町民まつり」が開催され、約100名が参加しました。この会は、舟形町出身者や縁故者で首都圏に居住または勤務する方々で組織しており、昭和44年に設立された歴史ある会です。町からは森町長、八楸町議会議長、伊藤県議会議員をはじめ他9名が参加し、ふるさとに想いを馳せながら親睦を深めました。



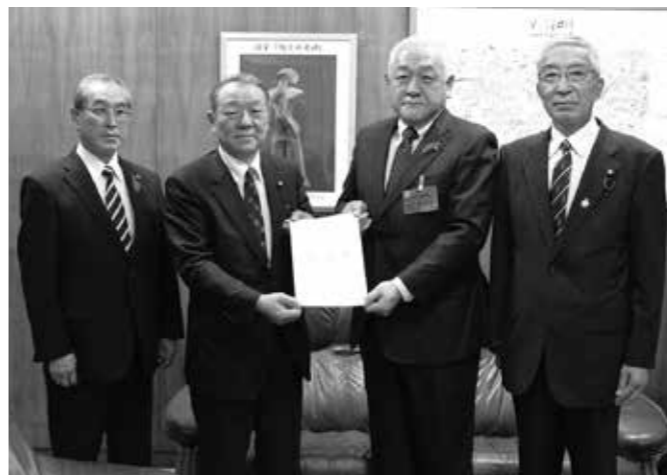
(左から)八楸町議会議長、星川舟形町東京友の会会長、森町長、伊藤県議会議員

議会中継システム導入にむけて

町長へ要望書を提出

(令和4年12月4日)

町民へ開かれた議会や、議員のなり手不足等町議会や議員の直面している課題を鑑みて、行政の効率化の一環として町が進めるデジタル化推進計画を前倒しし、『議会中継(LIVE・録画)システム』の令和5年度中の導入を検討するよう、森町長へ要望しました。



八楸議長、奥山副議長、斎藤議会運営委員長より森町長へ要望書を提出

舟形町固定資産評価審査委員会の選任に同意



かなうち のりお 叶内 範夫氏 (長沢第1)

任期は 令和5年2月23日より 令和8年2月22日まで

人権擁護委員に委嘱



きじま まき 木島 真紀氏 (洲崎)

任期は 令和5年1月1日より 令和7年12月31日まで

人権擁護委員法に基づき、山形地方務局からの候補者の推薦依頼により提案され、9月定例会において推薦に同意しました。この度正式に法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

陳情

12月定例会で審査した陳情は次のとおりです。安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書の提出に関する陳情

陳情者 山形県医療労働組合連合会 採 択

執行委員長 渡辺 勇仁

意見書

安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書 (右記の意見書を政府関係機関に提出しました)

議会のつごき

- 10月 総務文教常任委員会行政視察(5日) 全員協議会 議会地域活性化特別委員会 議会広報常任委員会 宮城県蔵王町議会行政視察来町 令和4年度山形県町村議会議員研修会 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成 同盟会現地調査会
11月 山形県懇話会 第30回「舟形町東京友の会」総会 第66回町村議会議長全国大会 産業振興常任委員会行政視察(15日) 国道13号泉田道路開通式典 産業振興常任委員会 議会運営委員会 議会地域活性化特別委員会 令和4年度最上地域ふるさと連合会総会 議会運営委員会 議会地域活性化特別委員会
12月 12月定例会(8日) 議会広報常任委員会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

- 応募方法: 写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。
問合せ: 舟形町議会事務局 32-0030 (直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は 令和5年3月7日(火)~15日(水)までの予定です。

# シリーズ

# えがったなめ

## ♥名前の由来は何ですか？

桜は枯れない。必ずまた、満開な花を咲かせてたくさんの人を幸せにしてくれる花。どんな事があっても必ず立ち上がり桜のように美しく元気いっぱいな笑顔をいつまでも見せてほしく、この桜に思いを込めました。

## ♥舟形町での育児はどうですか？

町外の人から舟形町の子育てサポート良いよねと言われる通り、様々な給付やサポートがあり育てやすいです。

## ♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

自然がいっぱいで子供が育っていくには、とても良い場所だと思います。

## ♥舟形町に望むことはありますか？

これからも子育てしやすい様々なサポートを続けてほしい。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。  
舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町役場議会事務局 ☎32-0030 (直通)



今回は、舟形第3の  
松田 淳志さん・怜衣さんの  
お子さんの桜依ちゃん(2才10ヶ月)  
です。皆さんよろしくお祈りします。

# 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

日頃より議員の皆様には、町民のよりよい暮らしに向け町民の声を傾けて頂きありがとうございます。又、大雪の際には早朝暗いうちから、除雪作業に携わっている皆様ありがとうございます。昨今より、原油価格・物価高騰が続いております。買物に行っても、様々な物が値上がりしている事が目に見えて実感しております。昨年舟形町から配布された1人1万円の商品券は、大変有り難かったです。コロナ禍も4年目に入ろうとしています。行動制限は緩和されましたが、抗原検査をおこなう外出しなければならず、抗原検査キットを購入する事が増えました。抗原検査キットの自己負担は、家族が多ければ多い程負担も大きいのではないかと思います。少しでも負担が軽減するように検討して頂ければ幸いに存じます。



さいとう ひさこ  
齊藤 寿子 さん  
(横山)

(議会より)  
物価高騰に伴う町民の負担が軽減できるよう引き続き要望してまいります。

# 編集後記

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈りするとともに災害のない穏やかな一年になって欲しいものです。

第8波といわれるコロナウイルスもなかなか収束が見えずマスク生活が続いておりますが、年末年始中断していた全国旅行支援が10日再開されました。

支援水準は引き下げられましたが、感染対策を徹底し、経済対策に取り組んで欲しいものです。

読んでもらえる広報誌をめざし質の高い紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見よろしくお祈りします。

(石山和春 記)

## 発行責任者

議長 八 欽 太  
議会広報常任委員会  
委員長 小国 浩文  
副委員長 石山 和春  
委員 伊藤 欽一  
委員 荒澤 広光  
委員 叶 内 昌樹